

新型コロナウイルス

『ワクチン接種』 始まる



優先接種を受ける医療従事者(養生園)

菊池

題字／菊池農業高等学校2年 坂本 藍 さん

議会だより

3月定例会 Contents

第1回定例会審議結果 …… 2

可決

令和3年度一般会計予算 …… 3

常任委員会報告 …… 4~7

12人が市政を問う! …… 8~14

トピックス

聖火リレーがやってきた …… 15

この定例会では、令和3年度菊池市一般会計予算をはじめ、補正予算、議員提出の規則改正案等37議案の提案があり、請願1件等も慎重に審議しました。

審議の結果、請願第1号を除き、原案のとおり可決・承認しました。請願第1号は不採択となりました。

開催日：2月22日（月）～3月19日（金）

主なものは以下のとおりです。

令和3年第1回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

第1回定例会	議案番号	議案名	結果
	議案第11号	菊池市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（P4に福祉厚生常任委員会での審査内容の一部を掲載しています）	原案可決
	議案第12号	菊池市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（P4に福祉厚生常任委員会での審査内容の一部を掲載しています）	原案可決
	議案第13号	菊池市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議案第27号	令和3年度菊池市一般会計予算 （P6～7に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています）	原案可決
	議案第28号	令和3年度菊池市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
	議案第29号	令和3年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
	議案第30号	令和3年度菊池市介護保険事業特別会計予算	原案可決
請願第1号	国の責任で「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願 （P4に総務文教常任委員会での審査内容の一部を掲載しています）	不採択	

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 除は除斥 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議案	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結果	表決数 賛成 反対	田中教之	福島英徳	緒方哲郎	後藤英夫	平直樹	東奈津子	坂本道博	水上隆光	猿渡美智子	松岡譲	荒木崇之	柁原賢一	工藤圭一郎	城典臣	大賀慶一	水上彰澄	二ノ文伸元	泉栄一朗	木下雄二	山瀬義也
			議案	結果	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
議案第11号	可決	17対2	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
議案第12号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
議案第13号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
議案第27号	可決	14対5	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	/	○	●	○	●	○
議案第28号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
議案第29号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
議案第30号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○
請願第1号	不採択	1対18	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	/	●	●	●	●	●

※ 除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

令和3年度予算 可決

一般会計 262億4,700万円 (対前年比4.8%減)

特別会計 132億9,281万8千円 (対前年比3.2%減)

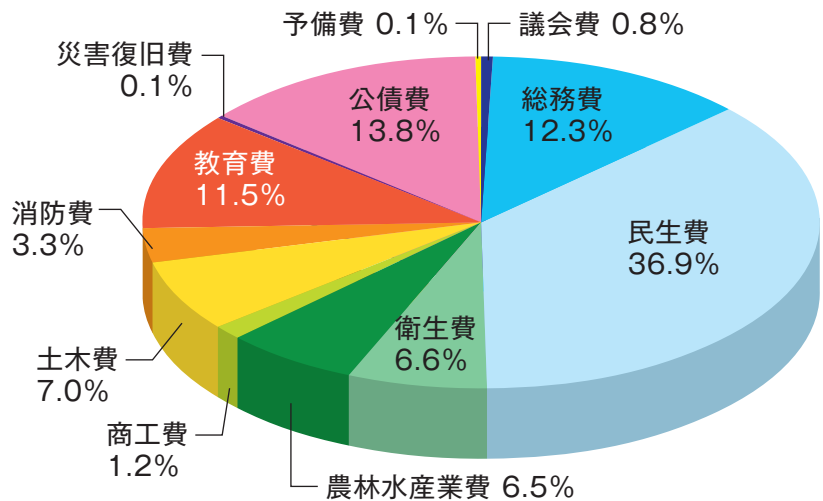
企業会計 41億7,719万2千円 (対前年比0.3%増)

■ 目的別歳出予算割合

■ 一般会計

単位:千円

目的別歳出費目	予算額
議会費	202,804
総務費	3,218,711
民生費	9,695,889
衛生費	1,719,347
農林水産業費	1,706,548
商工費	321,291
土木費	1,843,707
消防費	872,002
教育費	3,006,790
災害復旧費	29,947
公債費	3,609,964
予備費	20,000
歳出合計	26,247,000



■ 特別会計

単位:千円

特別会計名	予算額
国民健康保険事業会計	6,684,236
後期高齢者医療事業会計	656,694
介護保険事業会計	5,951,888
合計	13,292,818

■ 企業会計

単位:千円

特別会計名	予算額
水道事業会計(水道事業費用+資本の支出)	1,110,605
下水道事業会計(下水道事業費用+資本の支出)	3,066,587
合計	4,177,192



常任委員会報告

総務文教常任委員会

委員長／平直樹 副委員長／緒方哲郎
委員／福島英徳 猿渡美智子 柘原賢一
水上彰澄 木下雄二

不採択
国の責任で「20人学級」を
展望した少人数学級の
前進を求める請願

内容 国は、小学校を段階的に5年間で35人学級にすることを決めたが、来年度から5年間かけての実施では、①今の2年生以上は対象にならないこと、②中学校には適用されないこと、③5年間もかかること、④国民の声は「30人学級」や「20人学級」であることなど、規模やスピードが不十分である。

また、新型コロナウイルス感染症の問題もあり、子どもたちを守るためにも、誰もが安心して過ごせる学校にするためにも、早急に全小中学校の少人数学級を進めるべきである。

質問 20人学級というのが、1クラスを20人程度にするという趣旨であればそのとおりであると思うが、そういう趣旨であれば表現を変える方が誤解を招かないのではないか。望んでいるのは1クラス20人規模なのか。

紹介議員 請願の趣旨としては、まずは35人から30人を目指しながら、最終的には20人程度の規模を目指すものである。

意見 国に対しての意見書を含んでいるので、慎重に扱う必要がある。

意見 請願の願意に対しては、全く同感で賛成したい気持ちは大いにあるが、20人学級を展望したというところは、20人学級という行政用語と、紹介議員に伺った願意と大分ずれがあるように感じた。願意と意見書案が一致するような内容に修正していただき、次の議会で再提出をお願いしたいという気持ちで反対する。

福祉厚生常任委員会

委員長／坂本道博 副委員長／田中教之
委員／東奈津子 水上隆光 荒木崇之
城典臣

可決
菊池市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、他3条例

内容 厚生労働省令である『指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部改正』に伴い、関係条例の一部を改正するもの。

質問 介護職員の配置基準の緩和は、現職員の負担増にならないか。

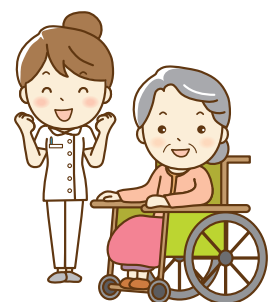
答弁 人員基準については、「支障がなければ」という文言が入っている。

意見 職員配置基準や運営基準の緩和により、介護現場での人手不足を一層深刻にするものであるため反対である。

意見 コロナ禍で介護の利用控えも発生している中で大事な条例改正である。

経済建設常任委員会

委員長／後藤英夫 副委員長／泉田栄一朗
委員／松岡讓 工藤圭一郎 ニノ文伸元
山瀬義也



可決
菊池市交流促進センター条例
の一部を改正する条例の制定
について

執行部 菊池市交流促進センター・通称 ロンロンカン 龍龍館

の改修工事が完了した平成27年度末に、速やかに条例改正を行うべきであったが、長期間対応できていなかったことに関して、適切ではなくから反省している。今後はこのようなことがないよう、職員一同が身を引き締め、日頃から適切な対応を心がけながら取り組んでいく、大変申し訳なかった。



菊池市交流センター ロンロンカン (龍龍館)

内容 平成27年度に実施した菊池市交流促進センターの改修工事に伴い、菊池市交流促進センター条例の一部を改正する必要がある、条例改正を行うもの。

質問 シャワー室を150円としているが、今まで徴収していたのか。

答弁 これまで、利用料金は発生していない。

質問 シャワー室は、無料で貸し出しをしていたということか。

答弁 料金設定をしていなかったため、そのまま貸し出ししていた。

意見 郷土料理提供コーナーと特産品展示販売所については、本来、2年貰えるところが、条例改正が成されなかったがために滞っている。こうしたことが委員会で説明も無いままに今に至っている。

意見 今、頑張っている事業者がきちんと頑張れるよう、またこの条例に沿って安心して頑張っていけるようにしてほしい。

可決
公の施設(四季の里旭志)の
指定管理者の指定について

内容 公の施設(四季の里 旭志)の指定管理者の指定について、地方自治法の規定により、議会の承認を得る必要がある。

質問 四季の里旭志は、設立当初、旭志村の福利厚生施設との意味合いもあったと思うが、途中、いろいろあって温泉ではなくなった。今回、大浴場の運営はしないのとだが、貸切風呂はどうするのか。

答弁 キャンプの方などへのシャワー室として利用していく。

質問 施設と貸切風呂は、事業者が受けることだが、大浴場は受ける者がいないことも事実であり、きちんと旭志地区の住民に対して説明を行っていく必要があるのではないか。

答弁 地域の方々には丁寧な説明を行っていききたい。



四季の里 旭志



四季の里 旭志 (複合遊具)

予算決算常任委員会
(分科会を含む主な審議内容)

委員長／松岡 讓 副委員長／城典臣
分科会長／(総務文教) 平直樹
(福祉厚生) 坂本 道博
(経済建設) 後藤 英夫
委員／議長を除く14名

可決
令和3年度一般会計予算

補助教員配置事業 1億1369万1千円

内容 小中学校新学習指導要領の完全実施やGIGAスクール構想に伴うICT活用による児童生徒への新たな学習支援の在り方、今後の35人学級による担任の個別対応の更なる充実が見込まれ、更には、これまでの補助教員や特別支援教育支援員の業務の違いもあり、支援体制を見直し「学校支援員」の1業種に統一し、昨年度の補助教員28人・特別支援員27人の計55人体制から、総数で13人減らし、学校支援員42人体制で対応するもの。

質問 今までの55人体制が、42人体制となるとのことだが、段階的ではなく突然この人数になったのか。



答弁 大きな理由は、教育環境が大きく変わることで、補助教員と支援員の仕事の内容の違いがなくなってきたことから、学校支援員という形で一つの職種にすることとした。

また、国からのICT機器を活用した特別支援教育や学校教育の在り方が変わり、学習指導要領も変わるといことも踏まえ、見直しを行った。今後も学校現場を注視しながら、必要に応じた適正配置に努めていきたい。

議員問討議 従来の補助教員の方々に理解を得られているのか。唐突に決められて55人が42人となり、13人の方が職を失ったと感じている。理解を得られて納得されているのかどうか気になる。

議員問討議 本事業は、菊池市は他の自治体に先駆けて実施され、毎年多額の費用を費やしてきた事業である。学校の先生からは、とてもありがたいという話を聞いている。特別な支援が必要な子どもたちが増えてきている現状では、減らしていいのだろうかというのは疑問である。今回人数が減らされたことは残念であるが、現場の要望があれば予算等を含めて見直ししていくという話があったので、この1年間現場がどう受け取っているのかしっかりと声を聴いていただきたい。

合併特例事業債 2億9550万円

内容 合併特例事業債は、合併した市町村が新しい街づくりのため、計画に基づき、特に必要と認められる事業に対する財源として借り入れる地方債で、本年度は、七城支所整備に係る財源として、借り入れるもの。



七城支所建設予定地

質問 合併特例事業債の額はどれくらいか。また、あと何年残っているのか。

答弁 令和2年8月現在で、合併特例事業債の発行限度額が213億円、発行可能な残額が12億円である。事業実施は令和6年度までとなっている。

質問 合併特例事業債は、残りの全額を使う計画になっているのか。

答弁 合併特例事業債は、新市建設計画に基づき行っており、庁舎整備事業をもって全事業が終了する計画で行ってきた。令和2年8月以降についても、発行可能残額12億円のうち3億円程度を七城支所の庁舎整備費用に充てることとしており、残りの9億円についても、新市

建設計画に基づく道路整備事業などに有利な財源として振り替え、限度額まで活用することになっている。

新型コロナウイルス感染症対策事業
2億1221万2千円

内容 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑え、市民の生命及び健康を守るために、ワクチンの接種が必要であり、予防接種法に基づき、市民が滞りなく接種が受けられるよう、体制を整備し予防接種を行うもの。

質問 コールセンター委託料が計上してあるが、委託先、地元からの雇用はどうなっているのか。また、いつまでの契約か。

答弁 委託先は、福岡県のヒト・コミュニケーションズという会社であり、対応スタッフは地元から雇用されている。予算は、1年分を計上している。

家畜導入事業 1200万円

内容 市単独の事業で、優良な肉用牛及び乳用牛の導入により、畜産経営基盤の安定を図るもので、家畜導入事業補助金として1頭当たり5万円を上限に市が補助するもの。



質問 家畜導入事業の予算は、この数年間変わっていないが、本市の基幹産業は農業であり、そのメインは畜産である。伸びている分野であるので、増額等は考えていないのか。

答弁 畜産は、菊池市の農業における重要な産業であるが、財政等の問題もあり御理解いただきたい。

市まつり事業 2075万5千円

内容 市まつり実行委員会等への委託料と補助金等であり、まつりの開催については新型コロナウイルスの状況により不確定な面もあるが、実施を前提として予算を計上したもの。

質問 コロナ禍においては、感染拡大防止もしなければならぬ、一方で市を元気にしていかなければならないといった中で、こういった点に留意しながら、まつりができるよう進めているのか。

答弁 県のイベント開催基準等があるので、それを守った範囲で行うよう、各実行委員会と話を進めている。

公園管理経費 6061万8千円

内容 公園の樹木管理、除草作業等の予算を計上したもの。

質問 公園管理は経費も掛かるので、業者

委託ではなく地域に任せる等できないか。

答弁 将来的には、地域で管理していただくことが理想と思うが、現状では受け手がなく難しい状況にある。パークPFという公園を企業や組合が管理するといった取り組みもあり、民間活用も含めて検討を進めたい。

新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種事業についての提言

① 執行部は、国からのワクチン接種の進捗状況を随時確認し、正確な情報を適宜市民へ提供すること。

② 執行部は、ワクチン接種を円滑に進めるために、交通手段のない高齢者や障がいなどで接種会場へ訪れるのが困難な方へのきめ細やかな配慮と支援を行うこと。

③ 執行部は、関係機関と十分に協議のうえ接種体制を整えて、接種時の感染症対策をきちんと行い、ワクチン接種を安全に実施すること。



12人が市政を問う

一般質問

質問者	質問事項	P
①城 典臣	1. 新型コロナウイルスワクチン接種対策について 2. 新型コロナウイルス感染リスクにより、教育環境はどのようにになっているか 3. SDGs 自動販売機について	9
②緒方 哲郎	1. 市内小学校における不祥事について 2. 新型コロナウイルスワクチン接種について	9
③泉田栄一朗	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 乳幼児の視力検査について	10
④坂本 道博	1. 新型コロナウイルスワクチン接種について	10
⑤平 直樹	1. コロナ禍における市政運営について 2. 病児・病後児保育について 3. ごみ袋について	11
⑥田中 教之	1. 子どもの事故予防について 2. 中山間地の活性化について	11

質問者	質問事項	P
⑦猿渡美智子	1. 子どもの貧困対策について 2. GIGAスクール構想について	12
⑧東奈津子	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 「災害弱者」の避難について	12
⑨福島英徳	1. 新型コロナウイルス感染症の関係予算について 2. 斑蛇口湖ポート場の管理について	13
⑩二ノ文伸元	1. 本市の教育環境について 2. 吃音について	13
⑪荒木崇之	1. 防災行政無線について 2. 菊池市第三セクター七城温泉ドーム及び七城メロンドームの接待交際費の不正支出について	14
⑫木下雄二	1. 市営住宅の現状と緊急避難住宅(政策空き家)の状況について 2. 地場産業育成の現状について 3. 千畳河原周辺の整備について 4. 国道387号沿いの太陽光発電事業について 5. 旧迫水小跡地への進出企業熊本県菊池エミュー観光牧場について 6. 地方創生臨時交付金の菊池市での使い道について	14

一般質問では、新型コロナウイルス感染症対策として、概ね30分を目途に議場内の換気を行いました。

議会をインターネットで!

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと会議録画映像を見ることができます。

使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局 / TEL 25-2325

菊池市議会 議会映像 [検索](#)



議会傍聴をお待ちしています!

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しく下さい。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場に制限がある場合があります。

6月定例会は
6月11日(金)に
開会します。



城 典臣 議員

新型コロナウイルスワクチン 接種対策について



質問 市民の皆さんは、ワクチン接種に対し不安を感じておられるので、接種を希望される方には、安全にもれなく接種できるよう配慮されること、情報は正確に伝えること、また、コールセンターの業務内容は何か

答弁 ワクチン接種にあたっては、安全に接種していただけるように取り組み、接種による感染予防の効果と副反応のリスクの双方について理解していただき、自らの意思にて接種の同意がある場合に限り接種を行う。ワクチンの情報は、様々な媒体を通じ、随時周知をしていく。コールセンターは、ワクチン接種の会場や接種券、予防等のお尋ねに対する市民の皆さまからの相談窓口として、本庁に3月8日から設置する。ワクチンの効果や副反応等の専門的な相談は、県が設置する専門的相談窓口にて対応する。

新型コロナウイルス感染リスクにより、教育環境はどのようになっているか

質問 感染を恐れ、学校を欠席した児童生徒の現状と、児童生徒に対する教育委員会の対応は

答弁 市内小中学校に確認したところ、昨年6月からの学校再開後、5日以上連続して登校しなかった児童生徒は15名程度であったが、現在はおらず、授業に参加できている。

今後、起きた場合の対応としては、これまでどおり毎日の授業内容のプリントを保護者に取りに来てもらったり、担任が

届けたり、また、電話で授業内容や学習の指示をする等の対応に加え、1人1台のタブレット配置も完了しているため、遠隔授業やドリル学習等にも対応できるように体制を整えていきたい。

そのほか、学校での指導や相談体制とともに、教育委員会でも、学校支援コーディネーターや適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカーにより対応していきたい。

SDGs 自動販売機について

質問 フードロス削減対策で、期限切れ間近のコーヒーや、スポーツドリンクを安く提供するなど、食品の廃棄に繋がらないようSDGsに賛同して、自販機を設置する考えはないか

答弁 まずは、本市の区域を事業活動範囲とする企業の意向が前提となることから、関係企業と情報及び意見交換等を行いながら、設置の可否について、検討していきたい。



緒方 哲郎 議員

市内小学校における不祥事 について



質問 事件後の対応や経過と再発防止策を

答弁 本市で県費教職員

の逮捕という不祥事が起き、児童、保護者、地域住民、市民の皆さまに心から深くおわび申し上げます。

報道があった1月25日夜に当該校の臨時PTA役員会、翌日に臨時保護者会が開催された。

教育委員会は、26日に市内臨時校長会議を開催し、事件の経緯や不祥事根絶の徹底と学校の相談体制づくりの強化を各学校長に指導し、27日には、今後子どもへの心のケアや接し方について校内研修を行った。また、被害児童はもと

より、不安を感じている児童の心のケアを第一に考え、県のスクールカウンセラーを要請し、児童や保護者の希望に応じたカウンセリングを実施した。

この他、児童や保護者が、いつでも相談できるよう、市独自に心の教室相談員を常駐させる等の相談体制を整備・強化した。

また、各学校には、不祥事防止委員会の設置を求めるとしてある。

再発防止策として、まずは不祥事防止のためのコンプライアンス研修を実施し、市内の小中学校の教職員に対し綱紀粛正を徹底するとともに、子どもたちが何でも相談できる環境を整備したい。

新型コロナウイルスワクチン接種について

質問 新型コロナウイルスワクチン接種の対象者数と接種率の見込みは

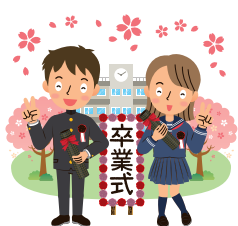
答弁 接種対象者は、16歳以上であり、令和3年1月1日現在の人口から、65歳以上が1万7,055人、16歳から64歳までが2万4,819人である。

接種率の見込みは、令和2年度の高齢者のインフルエンザワクチンの接種率が65%であったことから、インフルエンザよりも増える見込み、70%と予想している。

コロナ禍における小中学校の行事について

質問 コロナ禍における、本市小中学校の卒業式への考えは

答弁 卒業式は、昨年度と同様に、アルコール消毒や小まめな換気等の感染症拡大防止を行いながら、参加人数を抑えたり、式典全体の時間を短縮するようにしている。



高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種について



関からの往診を利用して接種できるよう医師会と調整を行っている。

質問 新型コロナウイルスは、高齢であれば比較的健康でも感染し、重症化する可能性が高いことが分かっている。

高年齢者（六十五歳位以上）の人数や、開始時期、接種するまでの流れ、交通手段がない方・病院や施設に入所されている方・認知症や精神疾患等の意思表示ができない方への対応は

答弁 65歳以上の対象者は、1万7,055人となっており、4月には接種を開始する方向である。ワクチンの接種会場まで行くことが困難な寝たきりの方等には、医療機

的な視力検査で使用されているランドルト環を用い、視力検査を行っている。

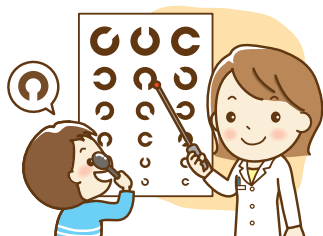
屈折検査機器は、健診会場での使用も可能で、近視、遠視、乱視、斜視等の屈折異常について、早期に短時間の検査で見つけることができる。聞いています。

まず、既に導入している自治体や販売メーカーから、機器についての詳細や、実際に健診で使用した際のメリット・デメリット等の情報を収集していきたい。

乳幼児の視力検査について

質問 子どもの目の機能は、6歳までにほぼ完成するため、3歳児健診で見逃すと視力が回復できないことがある。3歳児健診で斜視、遠視等の弱視を発見する屈折検査機器を導入する考えがあるか

答弁 乳幼児の視力検査は3歳児健診で、一般



新型コロナウイルスワクチン接種について



集団接種の会場は、総合体育館、七城・旭志・泗水公民館を予定している。

接種にあたっての医師や看護師の確保は、市内の医療機関に協力をお願いしており、協力医療機関の先生方と調整を行っている。

質問 ワクチン接種は、感染症の発病を予防し、死者や重傷者をできるだけ減らし、経済を回復させる最も効果のある方法だと思われる。

菊池市でも、ワクチン接種が始まると思うが、接種会場の確保、医師、看護師の確保等の準備は出来ているのか

答弁 新型コロナウイルスワクチン接種の実施体制は、菊池郡市医師会と協議を行い、現在市内の医療機関と調整中である。

実施にあたっては、医療機関での個別接種を軸とし、公共施設を使用した集団接種は、個別接種を補う形で実施したいと考えている。

性や副反応等の専門的な相談は、県が設置した新型コロナウイルス専用の相談窓口が対応する。



3月8日に設置された市のコールセンター

質問 ワクチン接種において、まれな頻度でアナフラキシー（急性アレルギー反応）が発生している。副反応が発生した場合に、救済制度があるか、どのようなのか

答弁 ワクチン接種後の副反応により健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく救済制度で対応する。

救済制度の内容は、接種後の副反応により健康被害が生じた場合で、医療機関での治療が必要になったときや、障がいが残る場合には、医療費や障害年金、また、死亡一時金等の給付が受けられる。

病児・病後児保育について



方に対しても、重要な子育て支援施策の一つと考えている。

質問

令和3年度の委託事業費はどうか

答弁

前年度の利用人数の実績を基に、国が示している補助金の基準額により決定している。

質問
位置づけは

第2次菊池市総合計画後期基本計画や第2期子ども・子育て支援事業計画において、子育てと仕事の両立を支援し、働きやすい環境づくりを推進するための取り組みとして計画している。
また、近年の多種多様な働き方やコロナ禍での柔軟な働き



ゴミ袋について

質問

黄色の極小サイズのみ無いが、作る考えは

答弁

以前と社会情勢が変わっているため、黄色のごみ袋の極小サイズの導入については、本市が運用している安心安全メール、市職員を対象とした庁内ネットワークシステムを活用し、アンケート調査を行い、意向を把握した上で、近隣市町の状況や、ごみの排出状況等を踏まえ、導入に関する検討を行っていききたい。

食品による子どもの窒息・誤嚥事故の予防について



い園が多かった。

なお、中には、年長児に自分たちで煎った豆を年の数だけ食べさせた園もあったが、その際は、保育士が窒息や誤嚥のないように見守りながら、安全に十分配慮して行われていた。

質問

本年の節分の際に、5歳以下の園児に豆を食しないよう国から連絡があったが、本市の保育園の対応はどうか



答弁

豆まきをする際は、市内全ての園で誤嚥防止の対策が取られており、新聞紙を丸めた球を大豆に見立てて実施したり、卵ボーロで代用する等、豆を食べさせていな

中山間地の活性化について

質問 今後の中山間地の活性化のために、市長はどのような構想があるか

答弁 菊池は、自然と都市部分の距離の近さ、バランスが絶妙であり、特に温泉と食がすばらしく、すぐ近くに渓谷や森、川があることを生かし、また昨今の健康志向もあって、既に本市では、『健康テレワークタウン菊池』というコンセプトで、既に具体的な検討に着手しており、温泉旅館業界との意見交換も始めたところである。

質問 千畳河原のヨシの除去の状況と、竜門ダムのドラゴンキャンプ場の課題は何か

答弁 千畳河原のヨシの除去は、県が令和元年度に土砂撤去等の整備を工期を2回に分けて実施され、今年度も土砂撤去を含む約1万2,000平方メートルを整備された。

竜門ダムエントランス広場は、すばらしいロケ

さらには、千畳河原や竜門ダムとの連携でキャンプ型とか、アウトドア型のテレワークも視野に入れて、引き続き具体的に検討を進めていきたい。

コロナ禍、子どもの学びに支援を



は、今後の課題として捉え、保護者への説明には、自動翻訳機等の様々なツールを活用したり、やさしい日本語を意識しながら対応していきたい。

質問 就学援助制度は、子どもの貧困対策として重要だ。周知が大切だが、保護者に配る説明文書は難解だ。「やさしい日本語」での表記や多言語化が必要ではないか

答弁 チラシには多くの情報が掲載をされており、内容は、制度だけでなく、手続の方法も掲載している。いずれも必要なものであり、内容の簡略化は難しい。簡略化すること、説明が不足し、誤解を招くおそれもある。

情報量が多いのも確かであり、制度に絞った別のチラシを作成する等の工夫をしていきたい。また、多言語への対応

格差のない学習環境に

質問 「小中学生に一人一台タブレット」の取り組みの一環として、市は家庭のネット環境整備に取り組んだ。格差を生まないことが大切だが、未整備の家庭には今後どのように対応するのか

質問 高校入学には多額の費用がかかるが、支援は希薄だ。コロナの影響を考え、低所得の世帯に入学準備金10万円の支給ができないか

答弁 制度の性格上、就学援助の対象経費の範囲は、中学生までの義務教育期間に必要な費用を対象として扶助することとなっている。

本市では、高校生以上を対象とした給付型奨学金の「菊池市教育振興小川奨学金」があり、ほかにも奨学金の貸付制度もあるため、これらの活用をお願いしたい。

答弁 未整備世帯には、インターネット接続環境整備費補助金を活用し、今年度末までに整備を行うようお願いしている。

そのため、本年度中に整備が整わず、次年度以降の整備となった世帯は、現在、各個人の負担となる。

しかし、4月以降の状況については、再度、家庭におけるインターネット環境に関するアンケート調査を実施しながら、状況を把握し、対応を検討していきたい。



新型コロナウイルス感染症対策について



状況であり、PCR検査の実施よりも、予防接種による感染防止とともに、これまでの感染防止対策を徹底することにより、感染防止に努めたい。

質問 新型コロナ関係の交付金も活用して、市独自で、医療機関や高齢者施設等への社会的検査の実施を検討すべきと思うがどうか

答弁 医療機関や高齢者施設における無症状者に対する検査は、感染防止及び感染拡大防止の有効手段の一つであると認識している。

しかし、新型コロナウイルス感染症予防接種の先行接種が始まっており、医療機関従事者の次に高齢者と高齢者施設従事者の予防接種を優先して実施するという県の方針に基づいて、予防接種の実施準備を進めている



答弁 プレミアム付商品券、飲食応援チケットは、消費活動の活性化のきっかけとして効果があつたと考えている。低迷した市内の経済活性化のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の国の第3次補正分を活用して、状況に応じた支援策を検討していきたい。

質問 コロナの収束が見通せない中で雇用や事業継続の面で大変厳しい状況が続いている。「事業継続応援金」や「飲食応援金」等、市独自の再度の支援策を行うべきと考えるがどうか

質問 新型コロナの影響で失業者・生活困窮者が増え続けている中で、「最後のセーフティネット」である生活保護の役割りが問われている。菊池市においても市民にむけて「生活保護は国民の権利です」というメッセージの発信を行うべきと考えるがどうか

答弁 コロナ禍における生活に困窮されている方への周知として、3月の広報に生活困窮と生活保護の相談窓口等について掲載を行った。

今後も、広報やホームページ、防災ナビ等を活用し、制度の周知を図っていきたい。

新型コロナウイルス感染症の 関係予算について



その点について、分かりにくかった部分は反省している。今後、そういったことがないように、歳出に見合った予算編成を考えている。

質問 新型コロナウイルスに関連する予算は66億円で、その中で8億9千万円が地方創生臨時交付金。また1億2千万円が防災倉庫整備で、その費用のすべてを国費で歳出とのことだが、一般財源を充当しておく必要はないか

答弁 新型コロナウイルス関連予算では、まず国から歳入額の総額が示され、それに合わせた事業を組み立てるような形で予算編成を行った。まず、予算を組んだときに、歳入を全部入れ、充当施策はその都度、合わせていく形で行ったため、充当額等に分かりにくい点があった。

質問 令和2年度一般会計補正予算で、子育て世帯応援給付金が、歳入は一般財源で歳出は国費（地方創生臨時交付金）となっており、歳入と歳出が違っている理由の説明を求め

答弁 今まで充当していなかった部分を充当して計上していたところであり、歳入の中にはその交付金が出てこず、財源内訳のところは交付金とどうか、国の予算が出てきており、予算書自体に分かりにくいところがあったと思う。分かりにくい点は、今後、改善していきたい。

斑蛇口湖ボート場の 管理について

質問 斑蛇口湖ボート場の管理を熊本県ボート協会に委託されているが、菊池市ボート協会に委託することで地元活性化及び意識は向上すると思うが、今後の方針を示せ

答弁 現時点で、菊池市ボート協会への委託は考えていないが、今後、熊本県ボート協会及び菊池市ボート協会と協力・連携のもと、ダム湖周辺の活性化を図りながら、菊池市ボート協会の組織体制がより強化され、独自の活動等の実績が整えば、施設の管理だけでなく、市で開催しているイベントや大会等を任せること等も考えていきたい。



湖面より出艇棧橋と艇庫を望む

補助教員配置事業について



められている中、児童生徒の障がいの状況も多様化している状況にあるため、見直しを行った。また、学習指導要領の完全実施に伴う学習内容の変化、それから、ICT活用に伴う学習支援の在り方の変化、そして、35人学級拡大で1学級の人数が減り、担任の数が増えることによる個別対応の充実等が見込まれるという観点から、教育支援員制度を見直した。この新たな学校支援員は、今後も学校長との意見交換を十分に行いながら、必要性に応じた配置数の検討を行っていきたい。

質問 菊池市の補助教員配置事業は有益であり、賛成である。

しかし、次年度の事業において、補助教員の減員、減額予算は昨年から続くコロナ禍での児童生徒の心身への影響が及ぶ中、配慮に欠けている。不登校の増加、また経済的変動による困窮家庭の増加で配慮がさらに必要な今こそ、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を支出し、適正な対応を検討すべきである。見解を伺いたい

答弁 近年、特別支援学級や、通級による指導対象者が増加傾向にあり、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への教育的対応が求



「吃音のある児童生徒に対する支援体制の確立」について

質問 請願が、前回定例会において全会一致で可決された。今後は、当事者や家族の思いが受け止められ、安心して生活するための支援や対応が必要である。今後の対応を伺いたい

答弁 請願の思いを受けながら、それをきっかけに、市内全校で取り組む必要があると感じている。そのために、まずは請願書にもあったように、吃音に関する正しい理解を得るための研修、熊本言友会から寄贈いただいた本の活用、小学校から中学校に進学する際の情報共有等の小中連携の強化を校長会議で指導した。また、障害者差別解消法の目的に沿って、障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指していきたいと思っている。

どうなる？防災無線個別受信機



答弁 アナログ個別受信機の部品交換修理対応可能台数は、50台分と聞いています。

質問

防災無線個別受信機は、泗水地区に平成7年に導入されてから今日まで、市民生活に欠かせないものとなっている。

市長は、泗水地区に設置してある防災無線のアナログ個別受信機をデジタル個別受信機に換える考えはあるのか

答弁

特にスマートフォンが普及した現在、スマートフォンだけではどこにいても皆さんが持ちこなすわけであり、どこにいても情報が伝わるきくち防災・行政ナビというのは効果の高いツールであると思えますので、今後の中心



→泗水地区に設置してある個別受信機と同等品のもの

的な手段と考えている。

一方では、スマートフォンになじみのない高齢者の方々や、あるいは中山間地や難聴地域では、むしろ戸別受信機は大変効果があるかと思えます。

また、こうしたものに加えて、広域に情報が届く防災行政無線あるいはスマホをお持ちじゃない方に対しては安心メール。

こうしたものを組み合わせること、居住地域であるとか、あるいは年代・ライフスタイルに応じて、どれか一つということではなくて、複数の手段による情報が受け取れる方法が最も効果的であると考えている。その中で全市民的な観点から、今後、検討していきたい。

市営住宅の現状と緊急避難住宅(政策空き家)の状況について



よう、柔軟に対応している。

質問 千畳河原周辺の整備について

千畳河原整備については、地元との県への要望により、ヨシの除草は県の護岸雑草処理事業で継続して整備が完了したが、周辺の整備についても素晴らしい観光地として管理・整備の必要があるが、今後の計画は

答弁 過去5年分の事業実績は、平成28年度に熊本地震関連で48件、建物火災で1件。平成29年度に熊本地震関連で5件。平成30年度に熊本地震関連で3件。令和元年度に建物火災で3件。令和2年度に豪雨災害で2件、台風災害で1件。となっている。

なお、提供する住宅の選定等は、被害に遭われました方の生活基盤等を考慮し、できるだけ被災者のニーズに応えられる



千畳河原の整備が県の継続事業で行われている

圃に実施していただいた。また、公園内の施設は、設置から年数も経過していたので、必要な維持補修など計画的に実施しながら、施設の適正な維持管理に努めてきた。

今後も引き続き、地元集落の方々やボランティアの方々へのバックアップや関係機関との連携をもって、千畳河原一帯の景観の維持と活用を図っていききたい。

地方創生臨時交付金の菊池市での使い道について

質問 国の新型コロナウイルス対策の財源として交付された地方創生臨時交付金の使い道については、特に約1億2千万円の防災備蓄倉庫建設よりコロナで苦しんでいる市民に活用を

答弁 交付金の趣旨にのっとり、また、各種団体等からの要望等も踏まえ、感染拡大の防止や、地域経済の回復と活性化に役立つこと、市民生活への支援、新しい生活様式への対応等について、時期を逸することのないよう適切な対策を取ることが重要であると考えている。

聖火リレーが菊池市にやってきました！

本市における聖火リレーは、県内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、ステージイベントの一部が中止となりました。この日のために、一生懸命、練習を重ねてきた子どもたちをはじめ、関係者の皆さまに感謝致します。ここでは、当日のリレーの一部と、聖火リレーを応援する子どもたちの練習風景を紹介させていただきます。



スタート：内田さん(菊池市)



最終ランナー：江里口匡史さん(菊池市出身)
(ロンドン五輪4×100mリレー 4位入賞)



内田さん(菊池市/右)から
日面さん(左)へ



武藤さん(菊池市)



正木さん(左)から
今坂さん(菊池市/右)へ



スタートで演舞する予定だった菊池小学校の延寿太鼓(現菊池南中1年生)



最終ランナーを合唱で、お迎える予定だったさくら保育園と第2さくら幼楽園(感染対策を行ったうえでマスクを外しています。)



市民広場で、ランナーや観客の皆さまを市内4中学校(菊池南・菊池北・七城・泗水)合同 brassバンドでおもてなしする予定でした。(写真は菊池南中)

令和3年 第2回菊池市議会定例会日程の予定

月日	区分	日 程
6月11日	本会議	開会・開議・会期の決定
		議案上程・提案理由説明
(6月12日～6月15日 休会)		
6月16日	本会議 委員会	質疑・委員会付託 予算決算常任委員会
6月17日	本会議	一般質問
6月18日	本会議	一般質問
(6月19日～6月20日 休会)		
6月21日	本会議	一般質問
6月22日	本会議	一般質問
6月23日	委員会	常任委員会(予算決算分科会) ・総務文教・福祉厚生・経済建設
6月24日	委員会	常任委員会(予算決算分科会) ・総務文教・福祉厚生・経済建設
(6月25日～6月28日 休会)		
6月29日	委員会	予算決算常任委員会
(6月30日～7月1日 休会)		
7月2日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※ 会期中に日程が変更になる場合があります。

議長交際費を公表します

令和3年2～4月分は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議・イベント等が中止となっているため支出していません。

編集後記

議会だよりを読んでいただき、ありがとうございます。前号で議会だよりに関するアンケートの結果を掲載しましたが、回答された方が約1.2%の237人でした。

高い予算を使う議会広報紙が、議員個人の一般質問中心になっていないか、無駄遣いと言われないように心掛けていきます。議会として、委員会として、真剣に、市長(執行部)と向き合っている姿をお伝え出来ればと思います。

コロナ禍で不便な生活が続きますが、身近な人同士、思いやり、助け合いながら、今を乗り切っていきましょう。

工藤圭一郎

令和3年3～5月 議会の動き

月日	内 容
2月22日 3月19日	令和3年第1回定例会
4月2日	熊本県市議会議長会事務局長会(熊本市)
4月8日	熊本県市議会議長会(宇土市)
4月13日	総務文教常任委員会所管事務調査
4月19日	議会広報特別委員会
4月21日	月例会
	議会改革検討特別委員会
5月12日	総務文教常任委員会所管事務調査
	議会広報特別委員会
5月21日	月例会
	熊本地震からの復旧・復興特別委員会
	総務文教常任委員会所管事務調査 議会改革検討特別委員会
5月25日	議会広報特別委員会

聖火リレー(菊池市最終ランナー) 江里口匡史さんからのメッセージ

この菊池の地から、
聖火リレーを見てくれた
子どもたちが、
大きく羽ばたいて、
日本へ、世界へ、
大きく育ててほしい。

令和3年5月6日
聖火リレー菊池市最終ランナー

江里口 匡史



■ 議会広報特別委員会 ■

委員長 / 東 奈津子
委員 / 福島 英徳

副委員長 / 田中 教之
猿渡美智子 工藤圭一郎 泉田栄一郎